

会員の広場



人生最高の冒険旅行

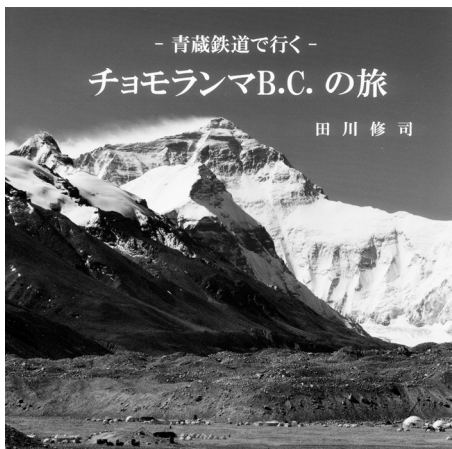
チヨモランマベースキャンプ
(標高5200m)に立つ

田川修司(千葉)

世界最高所を走る青蔵鉄道に乗りし、西寧(標高2275m)から、徐々に標高を上げてチベット自治区の境にあるタングラ峠(5072m)を越えました。車窓は7000m級の雪を頂くニエンチンタングラ山脈や草原が広がる素晴らしい景色の連続でした。高度に順応しながら聖なる都・

ラサ(3600m)への総延長195.6km、23時間の長い鉄道の旅でした。標高が上がって行くので高山病予防の為に高度順応に配慮してゆく毎日でした。血中酸素飽和度測定装置で朝夕測定して体調管理を行う毎日でした。酒は一月全く飲みませんでした。この旅のハイライトは、「この方向にチヨモランマが見えます」とガイドさんの指す方向は厚い雲に覆われて全く何も見えませんでした。ところが、チヨモランマのベースキャンプ(5200m)に到達した瞬間に、風で雲が綺麗に流れて真っ青な空が表れて素晴らしい快晴になりました。眩しい太陽、真っ白な雪に覆われたヒマラヤ山脈の高峰群、乾燥した茶褐色の大地、空気の薄い高原地帯等の素晴らしい「天空の世界」の出現でした。真っ青な空に雪雲を柵引かせて聳え立つ世界最高峰のチヨモランマ(8848m)の雄姿に遭遇、声もなく見とれていました。感動のあまり涙が頬を伝わっていました。

【12日間の旅行スケジュール(m)は標高です】
成田(43m)↓成都(500m)↓西寧(2275m)
↓青蔵鉄道(タングラ駅5068m)↓ラサ(3600m)↓ここからは車移動。ナムツォ・ナム湖



- 青蔵鉄道で行く - チヨモランマB.C.の旅

田川修司

(4718m)↓ラチュラン・ラ峠(5132m)↓カンパ・ラ峠(4749m)↓カロ・ラ峠(5045m)↓ヤムドウク湖(4441m)↓ギャンツエ(3900m)↓ツォー・ラ峠(4500m)↓ギャンツォー・ラ(5220m)↓オールドティンリー(4390m)↓シガツエ(3920m)↓トン・ラ峠(5050m)↓シエールカル(4300m)↓ロンボク(4900m)↓ギャウ・ラ(5100m)↓チヨモランマ・ベースキャンプ(5200m)。約二週間の旅行は八千メートル級の五座(チヨモランマ、ローツエ、マカルー、チョー・オユー、シヤパンマ)の眺望、世界最高所・世界最大級のポタラ宮殿、チベット仏教・文化・生活等の研究で毎日が貴重な体験の連続でした。

(注)チヨモランマはチベット語「世界の母なる女神」、エベレストはネパール語で「世界の頂上」の意味です。同じ山で世界一の高さ、標高8848mを誇っています。